



令和6年5月1日
目黒区立中町保育園園長

気持ちよく晴れた空の下に、5歳児がグループごとに絞り染めをして作った鯉のぼりが、色とりどりに泳いでいます。布にビー玉やスーパーボールを輪ゴムで巻き付ける作業は根気が必要ですが、指先を使い出来上がりを楽しみに頑張っていました。「見て、ぼくたちの作った鯉のぼりいいでしょ」と愛着を持っているようです。他のクラスも子どもたちに経験して欲しいことをもとに、鯉のぼりを作りました。1歳児は手形をうろこに見立てて、2、3歳児は絵の具を使ってスタンプやデカルコマニーという手法を用いうろこにしました。4歳児は画用紙で編み込みに挑戦です。切り込みに順序良く細長い画用紙を入れていく工程を、真剣な表情で一つひとつ進めていました。それぞれの活動の中で、自分の好きな土台の紙の色や絵の具を選んで決めることなどの過程を楽しみ、出来上がりにわくわくしながら取り組む中で思考力や集中力も育ちます。また、幼児クラスを中心に、楽しかったことや感じたことを一人ひとりと対話しながら描画活動を行っています。子どもの内面を引き出しのびのびと表現できるよう、一年を通して感触遊びや季節の制作をはじめ、描画など表現する喜びを味わい、豊かな感性を育てていきたいと思ひます。

先日は全体保護者会にご出席いただきありがとうございました。先週の5歳児クラスを始めに、クラス懇談会を行います。保護者の皆様と子どもたちの姿や大切にしたいこと、1年間の発達の見通し等を共有しながら懇談の場にしていきたいと思ひます。ぜひご出席ください。

《行事予定》

春の内科健診（全園児）

春の遠足（4・5歳児）

中旬 身体計測

避難訓練

『夏野菜の土づくり』

つき組、おひさま組が、昨年野菜を育てた土を再利用し夏野菜用の土を作りました。プランターをひっくり返すと土の中から何かが表れ、子どもたちも興味津々でした。「根っこがたくさんある」「虫もたくさんいるんだね」と目を輝かせながら、根や小石などを取り除き最後に新しい土を加えて、十分に混ぜ合わせていきます。

頑張って土づくりをしようという気持ちと共に、子どもには泥遊びにも似た面白さがあり、手を真っ黒にしながらか「気持ちいい」「新しい土を入れたらやわらかくなったよ」と笑顔で話しています。「早く野菜植えたいね」と今年も野菜を栽培することを楽しみにしている子どもたちでした。



～4月の子どもたちの様子～

もも組（0歳児）

園での生活にも少しずつ慣れ、保育士が手を握ってあやすと「あ～う～」と声をあげ「いないいないばあ」をすると嬉しそうにニコッと笑う姿が見られます。音が鳴るおもちゃはどの子どもお気に入り、音楽が流れると体を揺らしたり、そばまで来て楽しそうに見つめたりし、とても可愛らしいです。保育士の歌う、わらべうたにも耳を傾け心地よさそうに聞いていたり、手をたたいたりして嬉しそうな表情を見せています。

たんぽぽ組（1歳児）

新入時も笑顔が多くみられるようになり、毎日通う場所であることがわかってきているようです。部屋で遊んだ後にゆっくりと階段を降りて園庭に行くと、プランターに育った葉を触ったり好きな砂場に真っ先に向かったりなど、遊びたいものや自分の行きたい場所を見つけています。見つけてきた葉を手の平に乗せると、風が吹いて飛んでいく様子を不思議そうに見ていました。また、蟻を見つけると「あい」と言って教えてくれ、保育士が捕まえて渡そうとすると少しドキドキした様子でそっとつまんでいました。

ちゅうりっぷ組（2歳児）

園庭に出ると2人の子どもがそれぞれに、桜の木と柵の間でバランスを取りながら通ることを楽しんでいました。木の後ろで鉢合わせすると「はははっ」と2人で顔を見合わせ、それからは一緒に園庭を探索したり、追いかけたりして遊びが続きます。1人がしゃがんで指で地面の砂をなぞると同じようになぞって顔を見合わせて、声を出して笑い合っています。「何やってるの」と、友達のしていることに興味を持ち聞いてみたり「一緒に遊ぼう」と声をかけたりますなど会話ややりとりも増えてきています。

ほし組（3歳児）

園庭が大好きな子どもたちは「今日はお庭行くのかな」「転がしドッジボールやりたい」など戸外遊びを楽しみにしています。園庭に行くとすぐに「転がしドッジやる」とやりたい子どもが集まります。始まると、転がってくるボールに「きゃー」と声をあげてよけ、楽しみながら繰り返し行うことで身のこなしがうまくなってきています。逃げる役の次にボールを転がす役になると、強く転がしたつもりでも思ったように転がらず「あれっ」と笑っています。うまく転がって当てることができる嬉しそうな子どもたちです。

つき組（4歳児）

おひさま組が大縄を跳んでいる姿を見て「やってみたい」と数人の子が挑戦し始めました。最初はうまく跳べずに引っかかかっていましたが「跳べるようになりたい」と繰り返し跳んでいく中で「ジャンプするだけでいいんだ」と少しずつやり方がわかってきて1、2、3・・・10回と跳べるようになってきました。「次は20回跳ぶ」と目標を立て、どんなに足が疲れても、もっとやりたいと挑戦を続けていく子どもたちの姿からは頑張ったらできた喜びが全身から溢れています。その姿を見た周りの子どもたちも次々に挑戦を始めています。

おひさま組（5歳児）

おひさま組になり当番活動を意欲的に取り組んでいます。毎朝の人数報告当番は、保育士と日付の読み方を確認した後に、何度も小声で呟いて練習する姿や、事務所の前で一度深く息を吸った後に大きな声で「人数報告当番に来ました」と誇らしげな表情です。お昼寝に使用しているコートを事務職員と一緒に片付ける当番も2人1組になり、ペアの友達と「せーの…」と声を掛け合って息を合わせて運んでいます。昨年のおひさま組がやっていたことを今度は自分たちが行える喜びの気持ちや「ありがとう」と声を掛けられる嬉しさもあり、自ら進んで行おうとする姿につながってきています。